



関連事業の概要

今回のテーマに賛同する団体や機関等が、自主的にフォーラムの趣旨に即して実施する事業として位置付け、以下の通り、10団体等による19事業が実施されました。

No	主催者名称	事業の名称
1	(公社)日本フィランソロピー協会	シンポジウム「未来を担う人づくりと復興」
2	文部科学省	子ども霞が関見学デー
3	NPO 法人富士川っ子の会	有無瀬川・水生生物調査
4	(独)国立女性教育会館	平成24年度 男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム (NWEC フォーラム)
5	釜石市教育委員会	ふるさと探訪
6	NPO 法人富士川っ子の会	ソバの栽培とソバ打ち体験を通しての食育
7	NPO 法人大阪生涯学習インストラクターの会	フォーラム「震災後を生きる」～東日本大震災の教訓を活かした河南町としての取り組み～
8	(独)国立女性教育会館	平成24年度「女性関連施設相談員研修」
9	(独)国立女性教育会館	平成24年度NWEC 国際シンポジウム
10	(独)国立青少年教育振興機構	徳地サイエンスアドベンチャー「化石探検隊」
11	(独)国立女性教育会館	平成24年度男女共同参画交流特別週間 (らんざん交流ウィーク)
12	釜石市教育委員会	小佐野ふれあいデー
13	日本生涯教育学会	生涯学習政策研究フォーラム 「生涯学習推進の課題とイノベーション」
14	(財)生涯学習開発財団	生涯学習社会とコミュニケーション
15	文部科学省	第5回全国家庭教育支援研究協議会
16	(独)国立青少年教育振興機構	豊かな体験活動推進フォーラム ～豊かな体験活動を通して「生きる力」を育む～
17	(社)日本通信教育振興協会	第24回生涯学習奨励賞表彰式
18	(独)国立女性教育会館	大学等における男女共同参画推進セミナー
19	(独)国立女性教育会館	女性情報アーキビスト養成研修 (入門) + (実技コース)

(実施日順)



1 シンポジウム「未来を担う人づくりと復興」

開催日	8月3日(金)
会 場	浜離宮朝日ホール 小ホール
団体名	(公社)日本フィランソロピー協会

慶應義塾大学・金子郁容教授の基調講演後、昨年度被災地で実施した教育ニーズ調査について報告、さらに現地で子どもや先生を対象とした支援を行なう2つの市民団体より現場の声を報告しました。後半には、子どもたちの教育や地域における人材育成、産業復興についてパネルディスカッションを行いました。



2 子ども霞が関見学デー

開催日	8月8日(水)、9日(木)
会 場	文部科学省
団体名	文部科学省

子どもたちが親の職場を見学することなどを通して、親子のふれあいを深め、夏休みに広く社会を知る体験活動の機会として実施しました。大臣室で大臣と懇談できる「大臣室へようこそ」や、環境、エネルギー、防災に関する実験及び様々な体験プログラム(茶道教室、子ども手品教室、子ども将棋教室、お魚相談室、いけばな体験教室)などを行い、2日間で過去最高となる約3,800もの方々が参加しました。



3 有無瀬川・水生生物調査

開催日	8月18日(土)
会 場	富士市松野まちづくりセンター・有無瀬川
団体名	NPO 法人富士川っ子の会

水生生物調査の目的、水生生物の種類などのついて学んだ後に、水生生物の採取を行いました。昨年に続いて参加している人からは、きれいな水の指標生物の個数が増えているとの報告があり、今年も地域に水の恵みを与えながら富士川にそ注いでいる有無瀬川の水環境を守る学びの場となりました。



4 平成24年度 男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム (NWEC フォーラム)

開催日	8月24日(金)～8月26日(日)
会 場	国立女性教育会館
団体名	(独)国立女性教育会館

3日間にわたり、「第3次男女共同参画基本計画」に示された施策を参考に設定した5つのテーマ(①女性のキャリア形成、②男性にとっての男女共同参画、③安全・安心と男女共同参画、④男女共同参画の地域づくり、⑤男女共同参画の拠点)に基づきワークショップを実施しました。各ワークショップでは、日頃の研究成果や実践活動についての報告、質疑応答、協議などが行われ、参加者同士の情報交換・交流の場となりました。



5 ふるさと探訪

開催日 9月15日(土)～10月13日(土)

会 場 釜石市鵜住居地区

団体名 釜石市教育委員会

地域を散策し、地域の歴史や文化、環境を学ぶとともに、震災による浸水状況を把握し、復興に向けた地域理解を深めました。参加者それぞれが管内、近隣地区の浸水状況を把握することができ、復興に向けたまちづくりを進める上で現状を認識する一助となったほか、地域の文化や環境について学びを深めました。今後も同様の取り組みをおこない、後世への伝承を展開していきます。



6 ソバの栽培とソバ打ち体験をつうじての食育

開催日 9月16日(日)～12月16日(日)

会 場 富士市農業協同組合 富士川支店 生活館

団体名 NPO法人富士川っ子の会

富士川っ子エコクラブ農園でソバを栽培し、昔から伝わっている地域のソバ打ち体験を行いました。子どもたちは、種蒔、除草、刈り取り、脱穀など農作物の栽培過程や、収穫したソバ粉を使った伝統のソバ打ちを体験しました。一連の活動を通して、異年齢交流を図り、自然体験の少ない親子二世帯同時に研修する場となりました。



7 フォーラム「震災後を生きる」 ～東日本大震災の教訓を活かした河南町としての取り組み～

開催日 9月29日(土)

会 場 河南町立保健福祉センター 大会議室

団体名 NPO法人大阪生涯学習インストラクターの会

大阪府南河内郡河南町において、東日本大震災の教訓を活かした、学びによる新しい地域作りを模索するフォーラムを行いました。河南町による東日本大震災救援状況や、福島県の子供たちを北海道に疎開させた活動紹介などがありました。



8 平成24年度「女性関連施設相談員研修

開催日 10月17日(水)～10月19日(金)

会 場 国立女性教育会館

団体名 (独)国立女性教育会館

公私立の女性会館・女性センター等の女性関連施設において、女性の悩みに関する相談業務に携わっている相談員を対象に、配偶者からの暴力、外国人女性の困難、人間関係に関する悩み等喫緊の課題解決に必要な関連機関との連携、関係法知識、国の施策説明等の学習と相談技能の向上を目的に実施しました。女性相談の基礎・基本となる相談者の自立を支援するプログラムとともに、相談員自身の心や体の健康を維持するメンタルセルフケアについても、理解を深める内容でした。





9 平成24年度NWEC 国際シンポジウム

開催日 10月27日(土)

会 場 国立女性教育会館

団体名 (独)国立女性教育会館

二部形式で実施し、第一部では、ナンシー・キャラウェイ博士（ハワイ大学マノア校グローバルイノベーション研究センターヒューマンライツフェロー）が基調講演されました。第二部パネルディスカッションでは「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」研修生代表などの報告がありました。



10 徳地サイエンスアドベンチャー「化石探検隊」

開催日 10月27日(土)

会 場 国立山口徳地青少年自然の家ほか

団体名 (独)国立青少年教育振興機構

私たちの身近にある科学的教材資源（自然環境）を体験活動に活かした、子どもの理科への興味・関心の向上を目的としています。山口県秋吉台青少年自然の家にて、大理石を使ったキーホルダー作りや、美祢市歴史民俗資料館化石採集場にて、実際に化石を採集する体験を行いました。事業後、身の回りの石も見てみたいという声に参加者からあがりました。



11 男女共同参画交流特別週間（らんざん交流ウィーク）

開催日 11月6日(火)～9日(金)

会 場 国立女性教育会館

団体名 (独)国立女性教育会館

本週間は、全国から研修・学習による利用を積極的に受入れ、男女共同参画への理解と参加団体相互の交流ならびに国立女性教育会館の利用促進を図ることを目的に、『男女共同参画について学ぶための講座』を5つ、『時事プログラム』を2つ、『文化プログラム』を3つ、『NWEC・比企紹介プログラム』を2つ実施しました。



12 小佐野ふれあいデー

開催日 11月10日(土)

会 場 釜石市立小佐野小学校

団体名 釜石市教育委員会

5者（子ども、保護者、学校、地域、行政）が連携し、各々の交流を深めるとともに地域一体となった子どもの育みを図ることを目的に開催しました。ニュースポーツや昔ながらの遊び、販売体験等を行い、5者のつながりによる効果的な取組として今後も継続した実施が期待されます。



13 生涯学習政策研究フォーラム「生涯学習推進の課題とイノベーション」

開催日	11月11日(日)
会 場	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
団体名	日本生涯教育学会

多くの研究者、行政関係者らの参加のもと、生涯学習推進の課題とイノベーションと題して、合田隆史氏（文部科学省）、清國祐二氏（香川大学）、工藤朝博氏（北海道教育委員会）の3名の登壇者が問題提起し、フロア全体で活発な討議が行なわれました。



14 生涯学習社会とコミュニケーション

開催日	11月17日(土)、18日(日)
会 場	生涯学習開発財団会議室
団体名	(財)生涯学習開発財団

少子高齢化や雇用不安など先行きが不透明と言われている日本において、社会構造の変化に対応できる「生涯学習社会」を築くことを目的に実施しました。「コミュニケーション」の視点から考えるワークショップを行い、今後の生涯学習に取り組むための貴重なヒントを得る機会となりました。



15 第5回全国家庭教育支援研究協議会

開催日	11月20日(火)、21日(水)
会 場	(独)国立女性教育会館
団体名	文部科学省

文部科学省では、地域住民、学校、行政、NPO、企業などの協働による社会全体での家庭教育支援の活性化を図るため、全国的な研究協議を行っています。家庭教育支援の推進に関する検討委員会報告書「つながりが創る豊かな家庭教育」の提言を踏まえ、今後の家庭教育支援の充実に向け、講演やシンポジウム、実践交流会などを行いました。



16 豊かな体験活動推進フォーラム ～豊かな体験活動を通して「生きる力」を育む～

開催日	11月23日(金)、24日(土)
会 場	国立乗鞍青少年交流の家
団体名	(独)国立青少年教育振興機構

学校教育における集団宿泊活動や自然体験活動の教育成果を確認するとともに、より一層推進していく方策について議論しました。また、全国小学校学校行事研究会及び国立青少年教育振興機構中部・北陸ブロック5施設（能登・乗鞍・立山・若狭湾・妙高）が連携して事業を運営するとともに、各施設等で行っている事業の成果を普及・発信する場となりました。





17 第24回生涯学習奨励賞表彰式

開催日	11月24日(土)
会 場	プラザエフ (主婦会館)
団体名	(社)日本通信教育振興協会

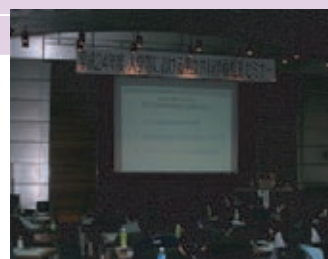
社会通信教育の優れた修了生54名の方々に文部科学大臣賞及び(社)日本通信教育振興協会会長賞を贈る表彰式を行いました。記念撮影の後、受賞者の皆さんと、ご家族も囲んで祝賀会を開き、本協会の学習指導員及び指導員スタッフも交流し、親しく歓談しました。



18 大学等における男女共同参画推進セミナー

開催日	11月29日(木)、30日(金)
会 場	国立女性教育会館
団体名	(独)国立女性教育会館

大学等の意思決定組織に所属する教職員や男女共同参画推進担当者など90名が参加しました。大学における男女共同参画推進の必要性、男女共同参画意識を浸透させるための組織づくり、女性研究者支援、女子学生へのキャリア形成支援等について理解を深めました。分科会では、各校の男女共同参画推進上の現状や課題について話し合い、自校の課題をどう解決していくかについて考えました。



19 女性情報アーキビスト養成研修 (入門) + (実技コース)

開催日	12月5日(水)～7日(金)
会 場	国立女性教育会館
団体名	(独)国立女性教育会館

「入門」では、女性に関わる原資料(女性アーカイブ)や著作権に関する基本的な知識とともに、資料保存やアーカイブ構築の現場で働く講師により実務の最新情報を提供する講義を行いました。

「実技コース」では、デジタルアーカイブの事例紹介のほか、参加者が持参した資料のデジタル撮影実習などを行いました。

